

2011/10/15

全国通信三田会幹事会MLの扱いについて

情報システム部

現在の全国通信三田会は、会報（2回／年）、ホームページ、幹事会MLなどにより、各種情報を発信しています。特に、幹事会MLは、幹事会メンバーに対する連絡事項など、情報共有化の大切な手段として運用しています。

幹事会メンバーの方々は、幹事会ML (freeml) の扱いについて、次の点を留意して運用して頂きたいをお願いします。

1. 幹事会メンバーがEメールアドレスを変更した場合、情報システム部又は総務部（下記メールアドレス）へ必ずご連絡を下さい。現在、メール配信されていない方(メルアド保有者)は最新のメールアドレスを下記へご連絡下さい。

情報システム部：keio2mita-hp@freeml.com総務部：keio2mita-soumu@freeml.com

2. この幹事会MLには、ユーザーによる配信停止とシステムによる配信停止の機能があります。ユーザーによる配信停止とは、参加者自身がメールの配信を停止させている状態です。この解除変更は、参加者自身が行ってください。システムによる配信停止とは、一定期間内に一定数以上のメールが宛先不明になると、MLシステムが自動的に配信停止にします。

(システムによる配信停止事例)

- ①参加者のメールアドレスが変更や廃止された場合
 - ②配信メールが「迷惑メール等の受信拒否（ブロック）機能」などに引っかかり、自動的にエラーメールがMLシステムに返信された場合
 - ③参加者のメール転送機能で、転送先アドレスでエラーになり、エラーメールがMLシステムに返信された場合
 - ④企業内や学校内ネットワークにて、私的メール利用を制限し、ML配信が私的利用と見なされ、MLシステムにエラーメールが返信された場合
 - ⑤ウイルス駆除機能が働き、ウイルス付きのメールが送信された場合や、送信者アドレスが偽装されたウイルス付きメールの場合
 - ⑥この他、様々な理由でエラーメールがMLシステムに返信された場合
3. 特に、一定期間幹事会MLを開かない場合は注意してください。なお、配信停止は、「freeml：<http://www.freeml.com/>」にマイページを登録すれば、参加者自身が解除可能です。

以上